

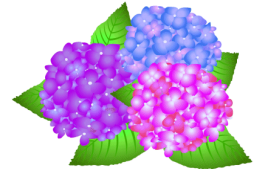
2015年6月4日 新人看護職員検温シミュレーション研修

新人看護職員が入職して3ヶ月に入りました。

この研修は、模擬患者役の状態観察のアセスメントを通して「報告・連絡・相談」の必要性を学び、新人の思考力（アセスメント能力）を鍛えることを目的に行いました。

事前学習

- ①フィジカルアセスメント看護技術の復習
- ②DVD（多重課題トレーニング）を視聴学習



新人看護師の動き

- ①患者の情報収集をし、必要物品を用意する 《7分》
- ②検温を実施する（報告、相談を含める） 《8分》
- ③シミュレーション実施後の振り返り

検温は、バイタルサインの値を測定し記録するだけの形式的な業務ではない。看護職員として、取得したバイタルサイン値を次の看護に繋げる事が出来たか、そのトレーニングができたか、プロセスを振り返る。



模擬患者胸部聴診



リーダーと相談



教育委員による評価



パルスオキシメーターで測定



教育委員による評価



全員で振り返り

感想：今年は新人看護職員2名です。静かな中に単位認定試験を思わせる雰囲気がありました。

新人と教育委員の振り返りも優しくかつ厳しく行われました。

